

- 問1 明治初期の改革において、政府は財政の安定を目指して税制を根本的に見直しました。それまでの年貢の仕組みと、地租改正によって導入された新しい仕組みの比較として適切なものはどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 収穫高に応じた米の納入から、収穫高に応じた現金の納入に変わった | 2. 地価に応じた米の納入から、地価に応じた現金の納入に変わった | 3. 村ごとの集団責任による納入から、個人の収穫高に応じた米の納入に変わった | 4. 収穫高に応じた米の納入から、地価に応じた現金の納入に変わった |
|------------------------------------|----------------------------------|--|-----------------------------------|
-
- 問2 地租改正の内容とその後の経過について説明した文として、正しいものを選びなさい。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地租改正によって現金での納税が始まると、米の価格が下落したため、政府はすぐに物納に戻した。 | 2. 地租改正によって農民の税負担は江戸時代よりも大幅に軽くなり、農村の生活はすぐに豊かになった。 | 3. 当初、税率は地価の3%とされたが、各地で反対一揆が起こったため、のちに2.5%に引き下げられた。 | 4. 税を納める義務は、土地を耕作している小作人に課せられ、土地の所有者は免除された。 |
|--|---|---|---|
-
- 問3 明治維新の改革が進むなか、1869年に明治政府が全国の藩主に対し、それまで支配していた土地と人民を天皇へ返上させた政策を何といいますか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 地租改正 | 2. 版籍奉還 | 3. 大政奉還 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問4 明治時代の初期、それまでの伝統的な生活様式に代わって欧米の文化や制度が積極的に取り入れられ、都市を中心に衣食住や社会全体のあり方が大きく変化した現象を何といいますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 下意上達 | 2. 文明開化 | 3. 殖産興業 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問5 明治政府が発表した「五箇条の御誓文」には、「旧来の陋習（るしゅう）を破り、天地の公道に基づくべし」「知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」という内容が含まれています。このような方針が示された目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|----------------------------------|
| 1. これまでの古い習慣を捨て、国際社会に通用する近代的な国づくりを進めて国力を高めるため | 2. 江戸時代の封建的な身分制度をさらに強化し、武士の特権を永続させるため | 3. 天皇による独裁的な政治を確立するために、国民の意見を政治から一切排除するため | 4. 鎖国体制を維持しながら、国内の古い慣習をより厳格に守るため |
|---|---------------------------------------|---|----------------------------------|
-
- 問6 1867年、徳川慶喜が政権を朝廷に返上した直後、薩摩藩や長州藩らを中心とする倒幕派の働きかけによって発せられた宣言は何ですか。この宣言によって、江戸幕府や将軍職の廃止と、天皇を中心とする新たな政治体制の樹立が明確に示されました。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------------|------------|
| 1. 廃藩置県 | 2. 大政奉還 | 3. 王政復古の大号令 | 4. 五箇条の御誓文 |
|---------|---------|-------------|------------|
-
- 問7 明治政府が1872年に群馬県に開設した、輸出用の高品質な生糸を生産するための官営模範工場の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 長崎造船所 | 2. 足尾銅山 | 3. 八幡製鉄所 | 4. 富岡製糸場 |
|----------|---------|----------|----------|
-
- 問8 明治維新が行われた後の1868年から1880年までの期間、日本は近代国家としての基盤を整えるためにさまざまな改革を短期間で進めました。この期間の出来事として誤っているものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|------------------------------------|--|--------------------------------|
| 1. 新橋と横浜の間で、日本初の鉄道が開通した。 | 2. 満20歳になった男子に兵役の義務を課す「徴兵令」が布告された。 | 3. 6歳以上の男女が小学校で教育を受けることを義務づける「学制」が公布された。 | 4. 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。 |
|--------------------------|------------------------------------|--|--------------------------------|
-
- 問9 1869年に明治政府が実施した、全国の藩主が所有していた土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させた政策を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 地租改正 | 2. 版籍奉還 | 3. 廃藩置県 | 4. 殖産興業 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問10 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 | 2. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 | 3. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 | 4. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 |
|--|---|--|---|
-
- 問11 明治政府が1872年に群馬県に設立した、生糸の輸出拡大と生産技術の向上を目的とした官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 富岡製糸場 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 足尾銅山 | 4. 長崎造船所 |
|----------|----------|---------|----------|
-
- 問12 1869年に藩主が土地と人民を天皇に返上した版籍奉還から、1877年の西南戦争に至るまでの改革と社会情勢について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 1869年の版籍奉還によって藩は即座に廃止され、全ての藩主はただちに新政府から罷免されて、地方へ中央政府から知事が派遣されるようになった。 | 2. 版籍奉還の後、国民に納税の義務を課す地租改正が行われ、その直後に廃藩置県が実施されたことで、武士という身分は法的に消滅した。 | 3. 1873年に徴兵令が出され、国民皆兵の原則が示されたが、武士の特権を奪われた士族らの不満が高まり、後に西郷隆盛を首領とする反乱へと発展した。 | 4. 西南戦争は、徴兵令によって軍隊に入った農民たちが、重い税負担を強いる新政府に対して全国各地で一斉に武器を持って蜂起した出来事である。 |
|--|---|---|---|
-
- 問13 明治時代初期、政府の権力が一部の有力な官僚に独占されている状況を批判し、国会を開設することを求めた「民撰議院設立建白書」が提出されました。この建白書において「有司専制」と批判された政治体制の中心人物であり、初代の内務卿として近代化を推進した人物は誰ですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 西郷隆盛 | 2. 吉田松陰 | 3. 大久保利通 | 4. 板垣退助 |
|---------|---------|----------|---------|
-
- 問14 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 | 2. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 | 3. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。 | 4. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 |
|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 収穫高に応じた米の納入から、地価に応じた現金の納入に変わった	江戸時代の年貢は「収穫高」を基準とした「米」での納入（物納）が基本でしたが、地租改正では課税基準を「地価」とし、納入方法を「現金」に改めました。政府はこれにより、豊作・不作に左右されない安定した財源を得ることを目的としました。
問2	答え 3 当初、税率は地価の3%とされたが、各地で反対一揆が起こったため、のちに2.5%に引き下げられた。	地租改正による税負担は、これまでの年貢と変わらないほど重いものであったため、各地で「地租改正反対一揆」が発生しました。これを受けて明治政府は、1877年に税率を地価の3%から2.5%へと引き下げました。なお、納税の義務を負ったのは耕作者ではなく、地券を交付された「土地の所有者」です。
問3	答え 2 版籍奉還	「版」は土地（地図）、「籍」は人民（戸籍）を指します。戊辰戦争を経て成立した明治政府が、幕藩体制を打破し、中央集権国家を樹立するために最初に行った重要な手続きです。これにより、形式的には全国の土地と人民が天皇の統治下に入ることとなりました。
問4	答え 2 文明開化	明治政府が近代国家を目指す中で、西洋の技術や思想、生活習慣が急速に広まりました。煉瓦造りの建物やガス灯、太陽暦の採用、ザンギリ頭、牛鍋を食べる習慣などがその代表例であり、これらを通じた社会の近代化を文明開化と呼びます。
問5	答え 1 これまでの古い習慣を捨て、国際社会に通用する近代的な国づくりを進めて国力を高めるため	「旧来の陋習（古い悪い習慣）」を捨てることは、江戸時代までの封建的な仕組みから脱却することを意味します。また、世界から広く知識を求めることで、欧米列強に対抗できる近代国家を築き、日本の独立と発展を目指すという新政府の強い意志が反映されています。
問6	答え 3 王政復古の大号令	徳川慶喜が大政奉還を行った後も、依然として旧幕府勢力が影響力を持つことを危惧した倒幕派が、天皇を中心とする新政府の成立を宣言したものです。これにより摂政・関白などの旧来の役職も廃止され、新たに総裁・議定・参与の三職が置かれることとなりました。1872年の富岡製糸場設立に先立つ、明治政府成立期における極めて重要な転換点です。
問7	答え 4 富岡製糸場	明治政府は、当時の主要な輸出品であった生糸の品質向上と増産を目指し、フランスの技術を導入して群馬県に官営模範工場を設立しました。これが富岡製糸場であり、日本の近代化における殖産興業政策の象徴的な施設です。
問8	答え 4 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。	明治初期の社会改革では、1872年の学制公布、1873年の徴兵令布告、1872年の鉄道開通などが相次いで行われ、近代化の基盤が作られました。一方、内閣制度の創設は1885年であり、大日本帝国憲法の発布（1889年）に向けた政治体制の整備が進む、より後の時期の出来事です。
問9	答え 2 版籍奉還	明治政府は、強力な中央集権国家を樹立するために、各藩が独自に持っていた権限を回収する必要がありました。そこで、藩主に土地（版）と人民（籍）を天皇に返させ、国家による統治の基礎を固めようとした。この政策により藩主は「知藩事」に任命されましたが、依然として旧来の支配が残ったため、のちの廃藩置県へとつながっていきます。
問10	答え 3 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問11	答え 1 富岡製糸場	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」の政策を進める中で、当時最大の輸出品であった生糸の品質向上と増産を図りました。そのためにフランスの技術を導入して設立されたのがこの工場です。現在はその歴史的価値が認められ、世界文化遺産に登録されています。
問12	答え 3 1873年に徴兵令が出され、国民皆兵の原則が示されたが、武士の特権を奪われた士族らの不満が高まり、後に西郷隆盛を首領とする反乱へと発展した。	明治政府は、1869年の版籍奉還で土地と人民の統治権を天皇に返上させ、1871年の廃藩置県で中央集権体制を確立しました。さらに1873年に徴兵令を公布して国民皆兵を目指しましたが、これは武士の独占的な特権であった軍事権を奪うものでした。生活基盤である秩禄（給与）の廃止や苗字帯刀の特権の喪失により、不満を募らせた士族たちが各地で反乱を起こし、1877年にはその最大かつ最後となった西南戦争が勃発しました。
問13	答え 3 大久保利通	明治政府の要職が薩摩藩や長州藩などの出身者によって占められていた体制は「有司専制（ゆうしせんせい）」と呼ばれました。大久保利通はその中心として内務省を設立し、殖産興業などの近代化政策を強力に主導しました。これに対し、板垣退助らは国民の意見を政治に反映させるべきだと主張し、自由民権運動へとつながる建白書を提出しました。
問14	答え 1 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。